

「児童の居住実態の把握」の取り組み状況について

「児童の居住実態の把握」のための取り組み事例

【就学前児童】

乳児健診未受診のため、保健推進課から家庭へ連絡するが、電話が繋がらず、家庭訪問を行うが、いつも不在のようで応答がない。

【経過】

児童 出生



こんにちは赤ちゃん訪問



3か月児健康診査

受診



予防接種

委託医療機関において3回実施



予防接種 (BCG)

うじ安心館に来所



10か月児健康診査

未受診



1歳児調査票

返送なし



保健推進課 電話

繋がらず



保健推進課 家庭訪問 計3回 応答なし

不在票および1歳児調査票を自宅郵便受けに入れる。



※1歳児調査票返送なし

保健推進課

地区民生児童委員から世帯の情報を得る。



保健推進課から地域子育て支援基幹センターに通告

「居住実態が把握できない児童」のおそれあり



地域子育て支援基幹センター 地区民生児童委員と連携

自宅に洗濯物などが干してあり、居住している様子はあるが、泣き声も聞こえるが、児童の姿は確認できない。



地域子育て支援基幹センターと保健推進課 家庭訪問

母子に出会い児童の姿を確認した。

児童に異常はなく、母の養育に大きな問題なし。



保健推進課 家庭訪問

今後の予防接種など育児についての指導実施

【就学後児童】

中学校を長期欠席し、学校からの連絡や接触がなかなかとれない児童。

【経過】 中学校入学



2年生の途中から不登校



中学校は家庭訪問を度々行なうが、児童が学校からの接触を拒否



中学校から教育委員会を通じ地域子育て支援基幹センターに相談
児童の安全確認ができない状況



個別ケース会議を中学校で開催

児童の安全確認を最優先に対応

地域子育て支援基幹センターの家庭訪問も視野にいれ対応



中学校および地域子育て支援基幹センターが母親と学校で面接



母親は児童に学校や行政の職員と接触するよう促す。



児童が行政の職員と出会うことを了解したと、母親から中学校に連絡



中学校から地域子育て支援基幹センターに家庭訪問の依頼



地域子育て支援基幹センターから母親に連絡し、家庭訪問

母親に呼ばれ、玄関まで出てきた児童を現認。

児童から発言はなかったが、児童虐待の観点からの異変は見られず。



今後も中学校と地域子育て支援基幹センターは連携し、対応の予定